

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	丸山
	<b>全体計画</b>		令和 3年度	～	令和 7年度	<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>		3312
<b>事務事業名</b>	4067 地域福祉推進事業											
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課											
<b>施 策</b>	02020600 地域福祉の推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費										
	<b>事業</b>	030000 地域福祉推進事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
住み慣れた地域で行政と住民が一体となって支え合う総合的な地域福祉に取り組むことにより、市民福祉の向上を図る。						社会の変化に対応しつつ、地域一人ひとりの暮らしを支え、地域福祉の推進を図っていくために、地域福祉を推進する民生児童委員との協力関係を維持し、活動を支援するとともに、地域福祉の中心となる社会福祉協議会の活動を支援することで、地域住民が主体となってみんなで支え合うまちづくりの実現を図る。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生児童委員106人 主任児童委員13人</li> <li>民生児童委員 年間活動件数 15,465件</li> <li>・ 社会福祉協議会活動事業補助金 50,053,842円</li> <li>・ 助け合い推進事業委託料 4,818,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生児童委員106人 主任児童委員13人</li> <li>民生児童委員 年間活動件数 15,408件</li> <li>・ 社会福祉協議会活動事業補助金 52,939,844円</li> <li>・ 助け合い推進事業委託料 4,813,000円</li> </ul>
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生児童委員106人 主任児童委員13人</li> <li>民生児童委員 年間活動件数 16,000件</li> <li>・ 社会福祉協議会活動事業補助金 56,052,000円</li> <li>・ 助け合い推進事業委託料 4,827,000円</li> </ul>	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	福祉ボランティア活動に参加している人の数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	地域福祉の推進には、住民による福祉ボランティア活動への参加が必要となる						
最終年度目標の根拠	現状値から毎年100人ずつの増加を目指す						
指標名	新・地域見守り安心ネットワークに登録をお願いした方の登録の割合						
算式						単位	%
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	新・地域見守り安心ネットワークへの理解の促進を図り、避難行動要支援者名簿への要配慮者全員の名簿登録が今後の災害対策等に必要となる						
最終年度目標の根拠	登録をお願いした方全員の登録を目指す						
指標名	民生児童委員の年間延べ訪問回数						
算式						単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	複雑化し、増加する住民の福祉ニーズに対応するため、民生児童委員の訪問の重要性が増している						
最終年度目標の根拠	月平均で2,600件程度を目標とする						

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		466,804	99,098
特定財源	国庫支出金	337,267	0
	都道府県支出金	7,948	7,948
	地方債	0	0
	その他	1,476	1,476
一般財源		120,113	89,674
人員数(人)	正規職員	0.6	0.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,266.6	4,977.7
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	4,266.6	4,977.7
市民一人当たりの経費		9.0	2.0
総額		471,070.6	104,075.7

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	318	消耗品164 印刷製本費153
12節 委託費	9,689	助け合い推進事業委託料 4,813 電算委託料 4,755 他121
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	92,196	社会福祉協議会活動事業補助金 52,939 民生委員協議会活動費負担金 1,607 他37,650
その他	364,601	福祉委員報酬 8,734 要援護者台帳管理システム 415

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	155	消耗品25 食糧費130
12節 委託費	5,448	助け合い推進事業委託料 4,827 災害ボランティア派遣事業委託料 500 他121
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	82,486	民生委員協議会活動費負担金 2,583 社会福祉協議会活動事業補助金 56,052 他23,851
その他	11,009	・福祉委員報酬（社会福祉の増進のため、市長が委嘱）・要援護者台帳管理システム賃貸借等 11,009

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	民生児童委員活動による地域の見守り活動、新・地域見守り安心ネットワークによる災害時等における支援は、市民の安全で安心な生活を確保するため、必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	市民の安全で安心な生活の確保のため機能している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	ボランティア活動であるため、受益者負担金、使用料の徴収は馴染まない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新型コロナウイルスの影響により活動できない事業があり、実施方法の検討、調整が必要である。  
民生委員の選出については、各区において大変苦慮しており、民生委員になった場合のメリットの創出や任務の軽減の検討が必要である。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
災害対策基本法改正による新・地域見守り安心ネットワークの整備、民生委員の一斉改選を適切に実施する。 。		自然災害等に備え、普段からの地域のつながりは重要であるため、新地域見守りネットワークや福祉ボランティア活動の推進は必要。要配慮者の福祉避難所への直接避難ができるよう、福祉専門職も関わり個別支援計画を充実させる	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	丸山
<b>全体計画</b>		平成 3年度	～	令和 7年度	<b>経費区分</b>			経常的経費		<b>内線</b>	3312
<b>事務事業名</b>	4068 福祉ボランティアセンター管理事業										
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課										
<b>施 策</b>	02020600 地域福祉の推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費									
	<b>事業</b>	060000 福祉ボランティアセンター管理事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
ボランティアセンターの適切な管理運営を行うことにより、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる体制を整備し、ボランティア活動の拡大を進め、みんなで助け合う福祉の実現を図る。						平成13年8月より利用開始。指定管理者制度により須坂市社会福祉協議会に管理運営を委託し、ボランティア団体に有効に利用していただいている。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用団体数 271団体</li> <li>・利用者数 1,503人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用団体数 269団体</li> <li>・利用者数 1,388人</li> </ul>
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用団体数 280団体</li> <li>・利用者数 1,600人</li> </ul>	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	須坂市ボランティアセンター年間延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	社会福祉協議会で実施しているボランティア活動を支援し、気軽に参加できる体制を整えるとともに、ボランティアを市民活動と位置づけ拡大を進める結果としての指標とする。						
最終年度目標の根拠	過去最高値の平成21年度実績値5,251人以上とする						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		983	237
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		983	237
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		983.0	237.0

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	770	福祉ボランティアセンター空調設備修繕770
12節 委託費	186	指定管理委託料186
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	27	機器賃借料27

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	210	福祉ボランティアセンター指定管理者委託料210
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	27	機器賃借料27

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	新型コロナウイルスの影響により、閉館した期間があったが、ボランティア団体等の活動の場としての役割を果たした。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	新型コロナウイルスの影響により、閉館した期間があったが、ボランティア団体等の活動の場として有効に役割を果たした。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	ボランティア団体の活動拠点であるため、受益者負担、使用料の徴収は馴染まない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

空調設備の老朽化により更新を行った。今後、年数の経過とともに、修繕等の経費が必要となる。  
 新型コロナウイルスの影響により、一時期閉館としたが、開館時には定期的な利用があった。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
継続して、ボランティア団体の活動の場（拠点）として必要である。老朽化による修繕等の経費の発生について対応が必要になる。		ボランティア団体の活動の拠点として維持する	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	佐藤 陽
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3314
<b>事務事業名</b>	4070 地域生活支援事業										
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課										
<b>施 策</b>	02020700 障がい者福祉の充実										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	030102 民生費・社会福祉費・障害者福祉費									
	<b>事業</b>	020000 地域生活支援事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
地域生活支援事業を実施し、障がい者の社会活動を促進する。						新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の追加による。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図る。	各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図る。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
各種事業を実施し、自立と社会参加促進を図る。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	手話奉仕員養成講座				
算式	累計参加者数				単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	177	0	190	200
	実績	0			
指標選定の理由	聴覚障がい者のコミュニケーションを支援するため				
最終年度目標の根拠	平成12年度からの平均受講者数				
指標名	専門性の高い相談支援の提供				
算式	相談支援専門員の研修				単位 回
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	6	6	6	6
	実績				
指標選定の理由	障がい者が地域で生活できるよう、専門性の高い相談支援を提供することが必要				
最終年度目標の根拠	平成28年度に相談支援専門員研修を1回開催し、以降1回ずつ開催回数増加させる				
指標名	障がい者に対する啓発広報				
算式	広報紙記事の掲載回				単位 件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	2	2	2	2
	実績	1			
指標選定の理由	障がい者に対する市民への理解の促進を図ることで、障がい者の地域生活を支援する				
最終年度目標の根拠	平成28年度現状値の2.5倍を目指す				

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		49,772	57,480
特定財源	国庫支出金	6,445	14,679
	都道府県支出金	3,222	7,337
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		40,105	35,464
人員数(人)	正規職員	1.1	1.0
	会計年度(フル)	2.1	0.8
	会計年度(パート)	0.0	1.8
人員コスト	正規職員	7,822.1	7,111.0
	会計年度(フル)	6,919.5	2,636.0
	会計年度(パート)	0.0	2,773.8
	計	14,741.6	12,520.8
市民一人当たりの経費		1.2	1.3
総額		64,513.6	70,000.8

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	458	手話通訳者派遣謝礼等 458
10節 需用費	66	消耗品費 66
12節 委託費	23,321	地域相談支援事業委託料 13,919、地域活動支援センター事業委託料 7,500、他 1,902
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,506	認定審査会共同設置負担金 1,667、地域生活支援拠点整備事業空床確保負担金 758、他 1,081
その他	22,421	日常生活用具給付費 11,025、移動支援費 4,761、他 6,635

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,288	手話通訳者派遣謝礼等
10節 需用費	173	消耗品費 73、修繕費 100
12節 委託費	24,117	地域相談支援事業委託料 13,962、地域活動支援センター事業委託料 7,500、他 2,655
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	4,209	認定審査会共同設置負担金 1,963、地域生活支援拠点整備事業空床確保負担金 763、他 1,483
その他	27,693	日常生活用具給付費 11,000、移動支援費 8,400、他 8,293

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	<p>障害者福祉（社会活動促進）の向上のため、不可欠な事業である。また、障害者支援団体との連携強化が必要である。</p> <p>閉館した期間があったが、新型コロナウイルスの影響により実施できない事業がある。今後、実施可能となった場合の迅速な対応が必要である。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	<p>障害者福祉（社会活動促進）の向上のため、不可欠な事業である。</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	悪化
評価コメント	<p>障害サービスの利用増加による経費の増加がある。</p>	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

点字広報発行事業を委託していた。ありんこの会の活動が終了した。ボランティア団体の育成、継続が課題である。新型コロナウイルスの影響により中止となっている事業がある。終息後の再開について検討が必要である。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
新型コロナウイルスの影響により、中止となっている事業の実施の検討、障害サービスの利用増加への予算等を含めた対応をする。ボランティア団体との連携、協働に努める。		障がいがあっても地域で生活が継続できるために障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用やボランティア団体の支援など重要である	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	佐藤 陽
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3314
<b>事務事業名</b>	4071 支援費サービス事業											
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課											
<b>施 策</b>	02020700 障がい者福祉の充実											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	030102 民生費・社会福祉費・障害者福祉費										
	<b>事業</b>	030000 支援費サービス事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
自立支援サービス事業を実施し、障がい者の自立を図る。						障害者総合支援法における自立支援サービス事業（ホームヘルプ、通所、入所等）の支援給付費を支給し、障がい者の自立を促進する。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
各種事業を実施し、障がい者の自立促進を図る。	各種事業を実施し、障がい者の自立促進を図る。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
各種事業を実施し、障がい者の自立促進を図る。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	障害者総合支援法による福祉サービスにより一般就労した人の数						
算式	2019年度実績の1.27倍以上					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	5	5	5	5	5	
	実績	6					
指標選定の理由	福祉サービスの提供により、障がい者の自立を支援することが必要である						
最終年度目標の根拠	第5期須坂市障がい福祉計画による						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決 算	令和4年度 予 算
事業費		1,121,761	1,180,862
特定財源	国庫支出金	571,581	589,156
	都道府県支出金	278,219	294,630
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		271,961	297,076
人員数(人)	正規職員	1.6	1.6
	会計年度(フル)	0.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.6
人員コスト	正規職員	11,377.6	11,377.6
	会計年度(フル)	1,647.5	0.0
	会計年度(パート)	0.0	924.6
	計	13,025.1	12,302.2
市民一人当たりの経費		21.7	22.8
総額		1,134,786.1	1,193,164.2

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	52	消耗品費 51
12節 委託費	207	総合福祉事務支援委託料 189、医療費審査支払事務委託料 18
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,121,502	生活介護支援費 306,415、就労継続支援費 324,488、他 490,599

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	58	消耗品費 58
12節 委託費	218	総合福祉事務支援委託料 189、医療費審査支払事務委託料 29
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,180,586	訪問系介護支援費 48,000、施設入所支援費 92,000、共同生活援助等支援費 124,000 他 916,586

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	障害者の安心、安全な生活を確保するため、適切な支援費の給付は必要不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	支援費の給付のより、障害者の安心、安全な生活を確保が図られている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	サービス利用の状況により費用の増減がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
プランナーとの連携により、適切な支援費の給付が行われている。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
プランナーとの連携により、適切な支援費の給付が行われている。引き続き連携した対応による給付を行なう。		地域生活継続のために障害者総合支援法に基づくサービスが利用しやすいように障がい者総合支援センターの充実が求められる	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

## 令和 4年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	丸山
<b>全体計画</b>		平成 3年度	～	令和 7年度	<b>経費区分</b>	経常的経費		<b>内線</b>			3312
<b>事務事業名</b>	4074 福祉会館管理事業										
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課										
<b>施 策</b>	02020700 障がい者福祉の充実										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	030105 民生費・社会福祉費・福祉会館費									
	<b>事業</b>	010000 福祉会館管理事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
障がい者福祉の増進と自立の促進を図るために設置定した施設の維持管理と適切な管理運営を行うことにより、障がい者福祉の向上を図る。						・障がい者の福祉の増進と自立の促進を図るため、施設を指定管理者として（公社）須高広域シルバー人材センターへ管理委託する。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間登録団体数 27団体</li> <li>・年間利用団体数、利用者数 681団体、9,034人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間登録団体数 27団体</li> <li>・年間利用団体数、利用者数 975団体、12,374人</li> </ul>
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間登録団体数 30団体</li> <li>・年間利用団体数、利用者数 980団体、12,500人</li> </ul>	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	福祉会館の年間利用者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由	福祉関係者による会館の有効利用を図る						
最終年度目標の根拠	年々減少傾向にあることから、平成28年度値の以上の利用として、年間100人増を目指す						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和3年度 決算	令和4年度 予算
事業費		3,566	3,863
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	214	198
一般財源		3,352	3,665
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,566.0	3,863.0

(単位：千円)

令和3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	3,527	福祉会館指定管理委託料3,527
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	39	AED借上料39

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	372	階段室壁紙修繕料372
12節 委託費	3,452	福社会館指定管理者委託料3,452
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	39	AED賃借料39

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	普通
評価コメント	ボランティア団体の活動の場の拠点として活用されている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	ボランティア団体の活動の場の拠点として活用されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	悪化
評価コメント	建物が老朽化し、修繕経費が増加している。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

建物の老朽化による修繕の必要が顕著化している。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

現行通り、施設が適切に運用されるよう努めていく。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

利用しやすいように環境整備継続していく

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	杉山博一
		全体計画						経費区分		-		内線	3314
事務事業名	12554 生活困窮者自立支援事業												
所 属	100100 健康福祉部・福祉課												
施 策	02020800 生活困窮者への支援												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	030101 民生費・社会福祉費・社会福祉総務費											
	事業	090000 生活困窮者自立支援事業											
事業目的						事業概要・効果							
生活困窮者の自立を支援するため、適切な相談業務等を行う。						まいさぼ須坂新規相談スペースの水回り、空調、サッシ等修繕							

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
新規相談件数 3件/月 プラン作成件数 1件/月 就労支援対象者数 2件/月 (厚労省目安値)	新規相談件数 4件/月 プラン作成件数 1件/月 就労支援対象者数 1件/月 (厚労省目安値)
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
新規相談件数 8件/月 プラン作成件数 3件/月 就労支援対象者数 2件/月 (厚労省目安値)	
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	新規相談受付件数（1ヵ月当たり）				
算式	人口10万人で1ヵ月当たり16件、須坂市は人口5万人として、16/2=8件				単位 件
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	国が示す目安値を使用。				
最終年度目標の根拠	平成27年度を現行値（10件）として、毎年1件の増を目標とする。				
指標名	相談支援により就労につながった数（年間）				
算式	就労支援対象者数				単位 件
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	国の示す目安値を参考に、平成27年度の実績（3件）から推計。				
最終年度目標の根拠	平成28年度目標値を6件とし、毎年1件の増加を目標とする。				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

（単位：千円）

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		18,972	29,490
特定財源	国庫支出金	15,394	13,959
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,578	15,531
人員数（人）	正規職員	0.8	1.0
	会計年度（フル）	0.0	0.0
	会計年度（パート）	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,688.8	7,111.0
	会計年度（フル）	0.0	0.0
	会計年度（パート）	0.0	0.0
	計	5,688.8	7,111.0
市民一人当たりの経費		0.5	0.7
総額		24,660.8	36,601.0

（単位：千円）

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	10	消耗品費 10
12節 委託費	14,292	委託料（自立相談支援事業 13,305、家計相談支援事業 309、こどもの生活・学習支援事業678）
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,521	県施行就労準備支援事業負担金 1,521
その他	3,149	扶助費（住居確保給付金 196、生活困窮者自立支援金 1,380）、償還金1,559 他14

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	24,005	委託料（自立相談支援事業 21,675、就労準備支援事業等 750、学習支援事業 1,580）
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,545	負担金（県共同実施就労準備支援事業 1545）
その他	3,940	扶助費 3940（住居確保給付金、生活困窮者自立支援金）

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	生活困窮者の自立を支援するため必要不可欠である。本事業が効果を発揮することにより、相談者等の自立が促される。特に、新型コロナウイルス感染拡大により収入が減少となった者への対応が必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	生活困窮者の相談窓口となったり、関係機関へ繋ぐなどの支援に繋がっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	新型コロナウイルスが終息した場合には、国の新型コロナ対策事業も中止となるため、事業費の縮小が見込まれる。 対人であり、解決困難な課題を抱えているケースも多く、解決のために費用と時間を有する。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

新型コロナウイルスの影響でスムーズな活動が困難であった。このような状態の中でも可能な支援をしていく工夫が必要である。  
 新型コロナウイルスを理由とする国の生活困窮者対策事業について、新事業の実施、既存事業の事業期間の延長等の繰り返しがあり、まいさぼ須坂との連携の必要もあり、事務量が増加した。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

須坂市生活就労支援センターを中核に関機機関と連携した支援体制を推進する。多様な生活困窮に対する柔軟な対応が必要である。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

生活困窮者支援については、多機関との連携が大切で重層的支援や包括的支援体制につて検討が必要

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--

## 令和 4 年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	杉山博
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3314
<b>事務事業名</b>	4083 生活保護費										
<b>所 属</b>	100100 健康福祉部・福祉課										
<b>施 策</b>	02020800 生活困窮者への支援										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	030302 民生費・生活保護費・扶助費									
	<b>事業</b>	010000 生活保護費									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
生活に困窮する者に対し困窮の度合いに応じ必要な保護を行い、最低限の生活を保障するとともに、その自立を助長することで地域福祉の向上を図る。						被保護世帯に対して、生活保護制度に基づき、世帯の自立助長のため各種扶助費を支給する。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 実績</b>
被保護世帯の最低限度の生活を保障するとともに、世帯の自立に向け、関係機関と連携し、就労支援等の必要な支援を行った。	被保護世帯の最低限度の生活を保障するとともに、世帯の自立に向け、関係機関と連携し、就労支援等の必要な支援を行った。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
被保護世帯の最低限度の生活を保障するとともに、世帯の自立に向け、関係機関と連携し、就労支援等の必要な支援を行う。	
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名	保護率				
算式	被保護人員／人口				単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	生活困窮者自立支援法の実施により、平成27年度値の維持にとどめる。				
最終年度目標の根拠	県の平均値				
指標名	自立により保護廃止となった世帯の割合				
算式	稼働収入の増加、他方活用による保護廃止世帯／保護廃止世帯全体				単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	就労支援事業及び就労準備支援事業の活用により、就労による自立を支援する。				
最終年度目標の根拠	現状値から毎年1%の増加を目指す。				
指標名					
算式					単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度 決 算	令和 4年度 予 算
事業費		359,484	333,855
特定財源	国庫支出金	246,134	250,391
	都道府県支出金	2,466	2,700
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		110,884	80,764
人員数(人)	正規職員	3.9	4.7
	会計年度(フル)	0.2	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.4
人員コスト	正規職員	27,732.9	33,421.7
	会計年度(フル)	659.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	616.4
	計	28,391.9	34,038.1
市民一人当たりの経費		7.4	7.0
総額		387,875.9	367,893.1

(単位：千円)

令和 3年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	359,484	生活保護扶助費 359,484

(単位：千円)

令和 4年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	333,855	生活保護扶助費 333,855

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	ボランティア団体の活動の場の拠点として活用されている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	ボランティア団体の活動の場の拠点として活用されている。生活の自立支援のための貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	悪化
評価コメント	被保護者の高齢化により医療扶助費が増加している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生活保護の申請に新型コロナウイルスの影響は少なかった。  
 新型コロナウイルスの影響により、訪問活動が制限された。  
 適切な支援、指導を検討する必要があるケースがある。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
生活保護法にのっとった適正な制度の実施に努める。		生活に困窮している方が相談しやすい情報提供やマイサポ等の関係機関と連携強化が必要	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	